

米軍基地環境カルテ

那覇空軍・海軍補助施設（施設番号：FAC6066）

平成 29 年 3 月

沖 縄 県

目 次

64. 那覇空軍・海軍補助施設（施設番号：FAC6066）	64-1
64.1 基本情報	64-1
64.1.1 名称	64-1
64.1.2 所在地、広さ（施設面積）	64-1
64.1.3 施設の概要等	64-1
64.1.4 施設の管理及び用途	64-1
64.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況	64-1
64.1.6 土地利用規制図	64-2
64.2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報	64-2
64.2.1 基地等の土地の状況	64-2
64.2.1.1 地形分類図	64-2
64.2.1.2 表層地質図	64-2
64.2.1.3 土壌図	64-2
64.2.1.4 切盛土分布図	64-2
64.2.2 基地内の施設の使用状況	64-3
64.2.2.1 施設配置図（埋設物含む）	64-3
64.2.2.2 施設等使用履歴	64-3
64.3 基地等の環境状況	64-4
64.3.1 自然環境（植物）	64-4
64.3.1.1 現存植生図	64-4
64.3.1.2 植生自然度図	64-4
64.3.1.3 特定植物群落	64-5
64.3.1.4 重要な種、貴重な種等	64-5
64.3.2 自然環境（動物）	64-5
64.3.2.1 重要な種、貴重な種等	64-5
64.3.3 水利用状況	64-6
64.3.3.1 水利用状況	64-6
64.3.3.2 井戸・湧水の分布状況	64-7
64.3.3.3 河川及びダムの分布状況	64-8
64.3.4 地下水の状況	64-8
64.3.4.1 地下水基盤面等高線図	64-8
64.4 当該施設及び周辺における環境関連事故等	64-9
64.4.1 事故等の概要	64-9
64.4.2 事故等発生場所	64-9
64.5 環境調査を実施する場合の留意事項	64-9
64.6 その他情報	64-9

64.7 環境等に関する通常監視について	64-9
----------------------------	------

64. 那覇空軍・海軍補助施設（施設番号：FAC6066）

64.1 基本情報

64.1.1 名称

那覇空軍・海軍補助施設（施設番号：FAC6066）

64.1.2 所在地、広さ（施設面積）

＜昭和 47 年 5 月 15 日＞

所在地：那覇市、豊見城村

広 さ：約 3,623 千㎡

出典：外務省ホームページ「沖縄の施設・区域（5・15 メモ等）（仮訳）」（1972 年 5 月）

(http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/usa/sfa/kyoutei/pdfs/02_03.pdf) を参照

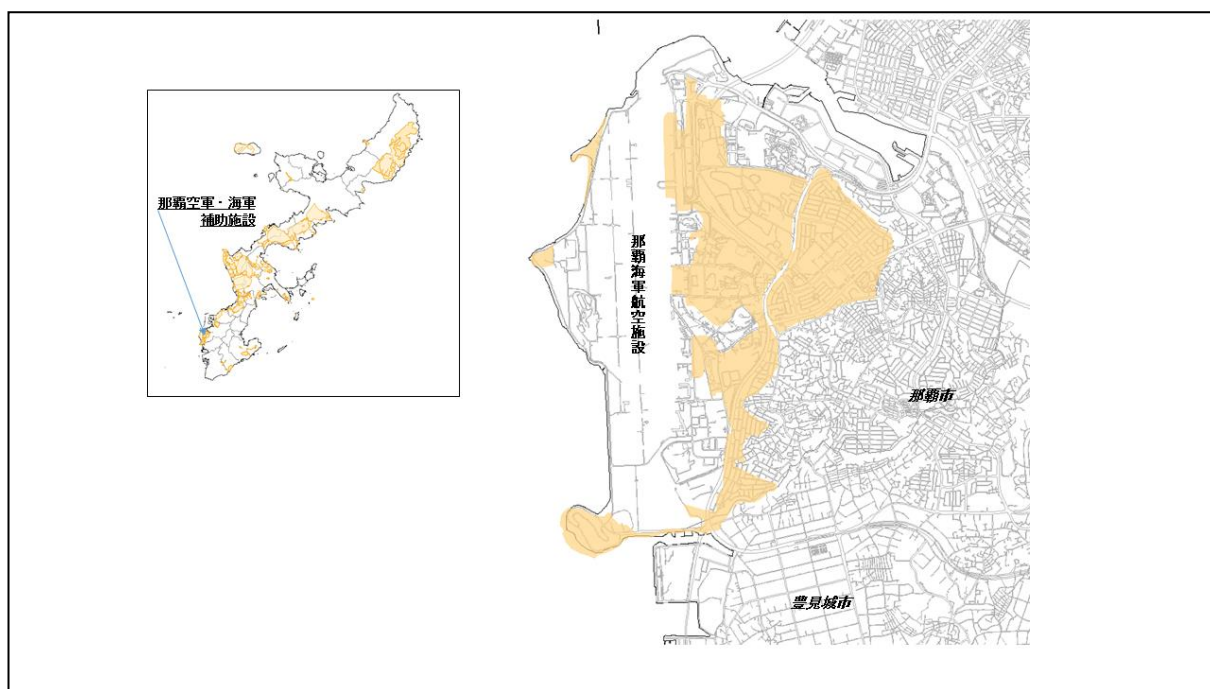


図 64-1 那覇空軍・海軍補助施設の位置図（昭和 47 年時）

64.1.3 施設の概要等

昭和 61 年 10 月 31 日、全部返還。

64.1.4 施設の管理及び用途

昭和 61 年 10 月 31 日、全部返還。

64.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況

返還跡地には市営球場や温泉宿泊施設が整備され、レクリエーション関連で利用されており、市内外問わず大勢の利用者で賑わっている。返還跡地の一部においては、土地利用に関する規制が厳しいこともあり、瀬長島観光拠点整備計画に基づき、その有効利用を図っていく。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）より引用

64.1.6 土地利用規制図

那覇空軍・海軍補助施設跡地及び周辺の土地利用規制図を図面集「土地利用規制図C」に示す。

64.2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報

64.2.1 基地等の土地の状況

64.2.1.1 地形分類図

那覇空軍・海軍補助施設跡地及び周辺の地形分類図を図面集「地形分類図C」に示す。

64.2.1.2 表層地質図

那覇空軍・海軍補助施設跡地及び周辺の表層地質図を図面集「表層地質図C」に示す。

64.2.1.3 土壌図

那覇空軍・海軍補助施設跡地及び周辺の土壌図を図面集「土壌図C」に示す。

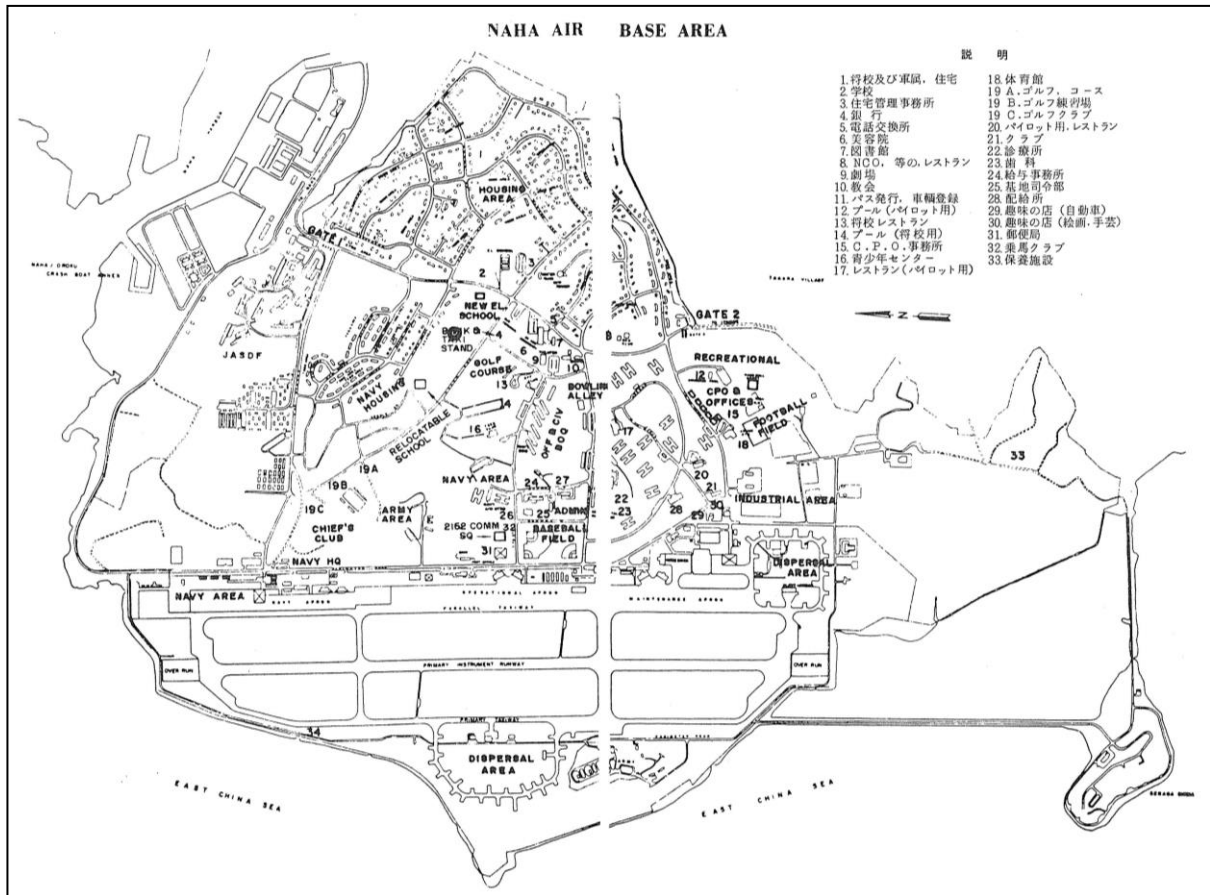
64.2.1.4 切盛土分布図

那覇空軍・海軍補助施設跡地の切盛土分布図は作成されていない。

64. 2. 2 基地内の施設の使用状況

64. 2. 2. 1 施設配置図（埋設物含む）

「沖縄の米軍基地」で確認した那覇空軍・海軍補助施設の施設配置図を図 64-2 に示す。



出典：「沖縄の米軍基地」（昭和 50 年 2 月、沖縄県渉外部基地渉外課）より引用

図 64-2 那覇空軍・海軍補助施設の施設配置図

64. 2. 2. 2 施設等使用履歴

昭和 20 年	米軍の占領後使用開始。
昭和 28 年	字具志の土地約 49,500 m ² を接收。
昭和 47 年 5 月 15 日	「那覇空軍・海軍補助施設」として提供開始（使用主目的：管理事務所、住宅及び弾薬庫）。
昭和 48 年 7 月 30 日	26,000 m ² を返還（国道 331 号用地）。
昭和 50 年 6 月 17 日	5,000 m ² を返還。
昭和 51 年 9 月 30 日	197,000 m ² を返還。
昭和 52 年 1 月 27 日	給・排水施設のイーズメントとして国道 331 号の一部 9,900 m ² 、しょう舎として建物 30 m ² 、また照明装置として工作物をそれぞれ追加提供。
昭和 52 年 5 月 14 日	瀬長島及び瀬長島への海中道路部分 165,000 m ² を返還。
昭和 53 年 7 月 31 日	20,000 m ² を返還（自衛隊病院建設用地）。
昭和 53 年 10 月 19 日	18,000 m ² 区域修正（境界変更により空海部分は減、那覇港湾施設は増）。
昭和 55 年 2 月 14 日	陸上自衛隊が訓練場として 109,000 m ² を共同使用。

昭和 55 年 3 月 31 日	916,000 m ² を返還。
昭和 55 年 9 月 30 日	2,000 m ² を返還。
昭和 56 年 10 月 31 日	10,000 m ² を返還。
昭和 56 年 11 月 27 日	航空自衛隊及び海上自衛隊が建物等の用地として 1,012,000 m ² を共同使用。
昭和 57 年 3 月 31 日	2,278,000 m ² を返還（自衛隊引き継ぎ）。
昭和 58 年 3 月 31 日	58,000 m ² を返還。
昭和 58 年 10 月 31 日	980 m ² を返還。
昭和 59 年 3 月 31 日	5,460 m ² を返還。
昭和 59 年 5 月 31 日	8,140 m ² を返還。
昭和 61 年 10 月 31 日	全部返還。

出典：「沖縄の米軍基地関係資料」（昭和 47 年 11 月、沖縄県総務部渉外課）、
「沖縄の米軍基地」（昭和 62 年 3 月、沖縄県総務部知事公室基地渉外課）、
「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）を参照

< 主要建物及び工作物 >

建 物：事務所（2 棟）

工作物：ケーブル、タンク

出典：「沖縄の米軍基地」（昭和 62 年 3 月、沖縄県総務部知事公室基地渉外課）より引用

64.3 基地等の環境状況

64.3.1 自然環境（植物）

64.3.1.1 現存植生図

那覇空軍・海軍補助施設跡地及び周辺の現存植生図を図面集「現存植生図 C」に示す。

64.3.1.2 植生自然度図

那覇空軍・海軍補助施設跡地及び周辺の植生自然度図を図面集「植生自然度図 C」に示す。

64.3.1.3 特定植物群落

那覇空軍・海軍補助施設跡地及び周辺において、特定植物群落の該当はない。

出典：「自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成 12 年 3 月、環境庁自然保護局生物多様性センター）を参照

64.3.1.4 重要な種、貴重な種等

那覇空軍・海軍補助施設跡地及び周辺の重要な種、貴重な種等（植物）を表 64-1 に示す。那覇空軍・海軍補助施設跡地及び周辺の那覇市指定天然記念物として「ガーナー森」がある。

表 64-1 那覇空軍・海軍補助施設跡地及び周辺の重要な種、貴重な種等（植物）

No.	名称	所在地	区分
1	ガーナー森	那覇市鏡原町 10-3、10-7	那覇市指定天然記念物

出典：「～平成 27 年度版～文化財課要覧」（2015、沖縄県教育庁文化財課）を参照

64.3.2 自然環境（動物）

64.3.2.1 重要な種、貴重な種等

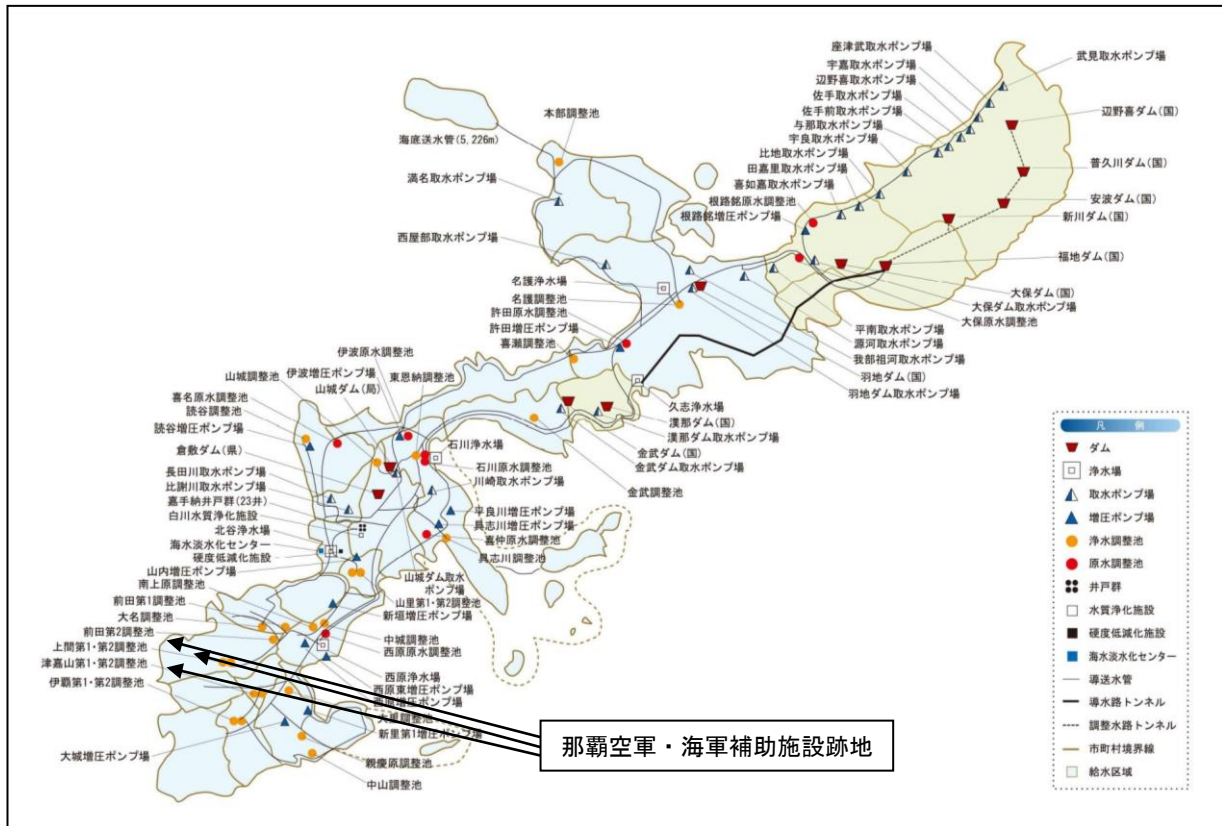
那覇空軍・海軍補助施設跡地のある那覇市及び豊見城市で生息が確認された又は生息が可能或いは推定される、重要な種、貴重な種等（動物）は 18 種類いる。

出典：「自然環境の保全に関する指針〔沖縄島編〕」（平成 10 年 2 月、沖縄県環境保健部自然保護課）を参照

64.3.3 水利用状況

64.3.3.1 水利用状況

沖縄県企業局による、沖縄島及び周辺の水利用状況を図 64-3 に示す。

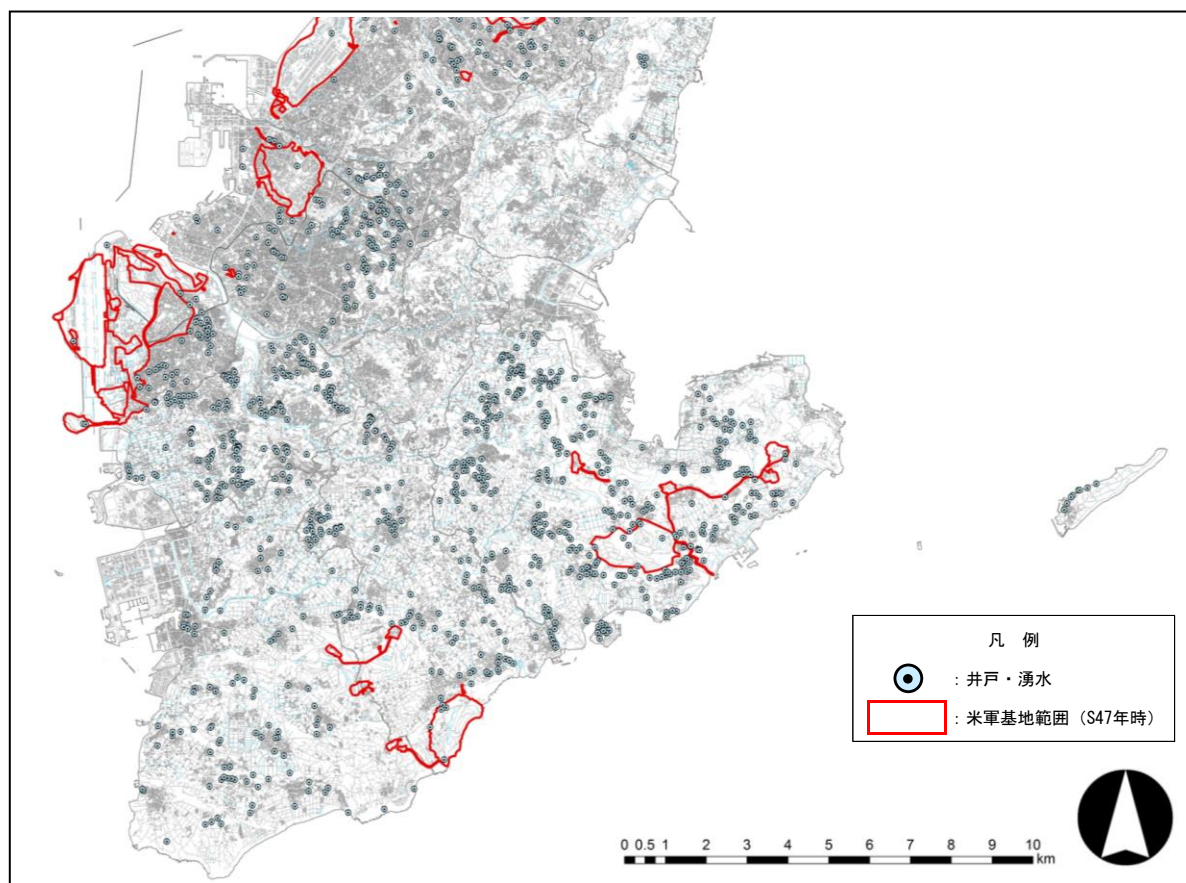


出典：「2015<平成 26 年度決算版> 環境報告書」（平成 28 年 3 月、沖縄県企業局配水管理課）を参照

図 64-3 沖縄島及び周辺の水利用状況

64.3.3.2 井戸・湧水の分布状況

那覇空軍・海軍補助施設跡地及び周辺の井戸・湧水分布状況を図 64-4 に示す。



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平成 29 情使、第 269 号）」

注：本図には、史書等より情報を得た井戸・湧水の位置も示されていることから、その存在や状態については、活用者が確認する必要がある。

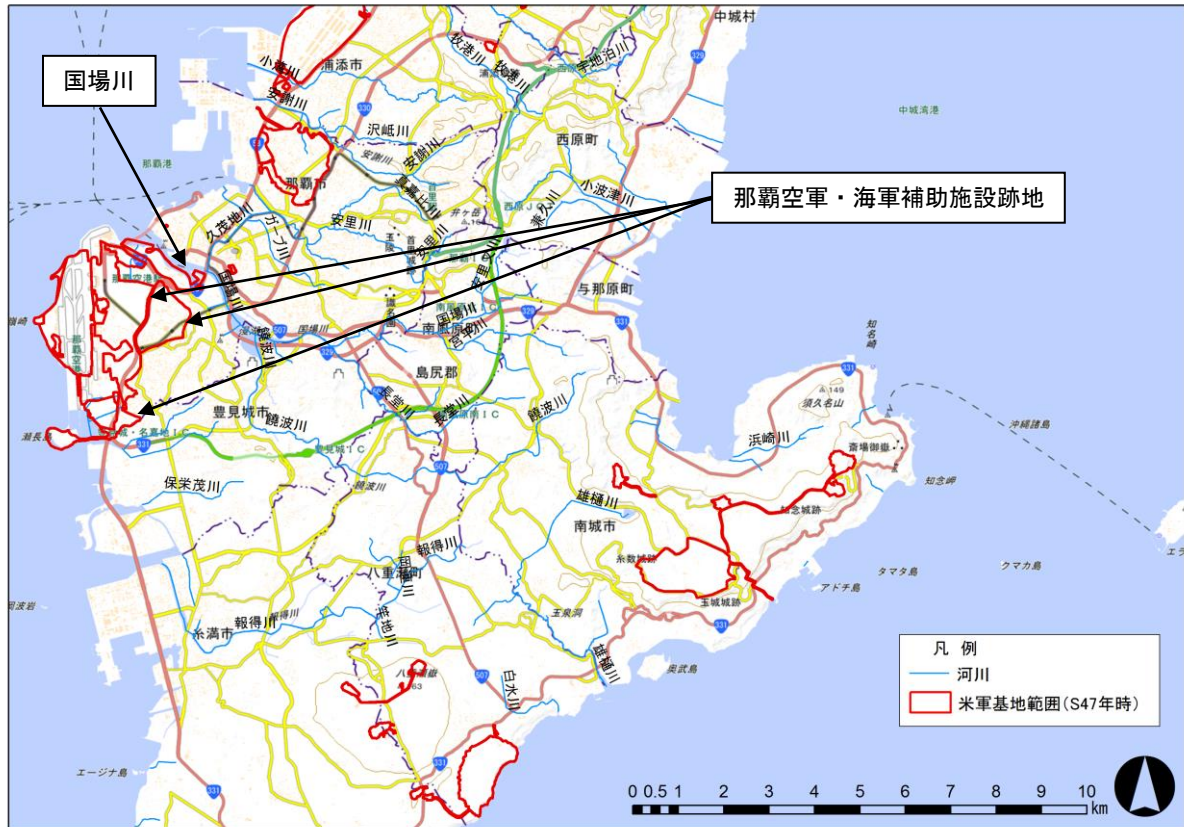
出典：別途記載

図 64-4 那覇空軍・海軍補助施設跡地及び周辺の井戸・湧水分布状況

64.3.3.3 河川及びダムの分布状況

那覇空軍・海軍補助施設跡地及び周辺の河川、ダム分布状況及びその概要を図 64-5、表 64-2 に示す。那覇空軍・海軍補助施設跡地及び周辺には、二級河川が 1 本ある。

なお、周辺に国・県管理ダムはない。



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号 平成 29 情複、第 301 号）」
 出典：「国土地理院地図（平成 29 年 3 月）」、「国土数値情報のデータ（河川情報）」、
 「沖縄の米軍基地関係資料（地位協定に基づく提供施設）」（昭和 47 年 11 月、沖縄県総務部）、
 「返還軍用地の施設別概要」（昭和 53 年 3 月、沖縄県企画調整部）を参照

図 64-5 那覇空軍・海軍補助施設跡地及び周辺の河川、ダム分布状況

表 64-2 那覇空軍・海軍補助施設跡地及び周辺の二級河川の概要

国場川水系	国場川	指定延長：8,250m	流域面積：43.06km ²
指定区間：（左岸）南風原町字宮城当川原 380 番 2 地先から漫湖を含み明治橋に至る （右岸）南風原町字大名宮城原 181 番 3 地先から漫湖を含み明治橋に至る			

出典：沖縄県ホームページ「沖縄の河川資料室」

(<http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/kasen/kanri/okinawanokasensiryousitu.html>（平成 28 年 8 月 23 日閲覧）

64.3.4 地下水の状況

64.3.4.1 地下水基盤面等高線図

那覇空軍・海軍補助施設跡地及び周辺の地下水基盤面等高線図を図面集「地下水基盤面等高線図 C」に示す。

64.4 当該施設及び周辺における環境関連事故等

64.4.1 事故等の概要

那覇空軍・海軍補助施設及び周辺における米軍の活動に起因する環境関連事故等の概要を表 64-3 に示す。那覇空軍・海軍補助施設では、昭和 52 年 11 月、タンカーから貯油タンクへの給油中に起きた航空機燃料の流出事故が 1 件確認された。

表 64-3 那覇空軍・海軍補助施設及び周辺における環境関連事故等の概要

発生年月日	発生場所	概要	備考
昭和 52 年 11 月 17 日	那覇市	那覇軍港に停泊中のタンカーから、パイプラインを通して、那覇空軍・海軍補助施設内の貯油タンクに給油中、作業ミスでタンクからオーバーフローし、約 4 万 5 千ガロンの航空機燃料が、排水溝を伝って南西航空ターミナル近くまで流出。国道 332 号の一部が一時閉鎖された。	油流出

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 15 年 3 月、沖縄県総務部知事公室基地対策室）

64.4.2 事故等発生場所

那覇空軍・海軍補助施設及び周辺における米軍の活動に起因する環境関連事故等発生場所の情報は確認できなかった。

64.5 環境調査を実施する場合の留意事項

特になし。

64.6 その他情報

特になし。

64.7 環境等に関する通常監視について

在沖米軍施設・区域に起因する環境汚染を防止するため、沖縄県では基地排水等の監視、事故時の調査を実施し、水質汚濁の状況把握に努めている。

那覇軍港・海軍補助施設におけるこれまでの調査で、基準に適合しなかった結果の概要を表 64-4 に示す。

表 64-4 米軍基地排水調査における基準不適合結果の概要

調査地点名	調査年月日	項目	値	基準
陸上自衛隊上流	昭和 54 年 10 月 11 日	大腸菌群数	$1.2 \times 10^5 \text{ coli/cm}^3$	排水基準

◆ 一律排水基準

大腸菌群数（日間平均 $3,000 \text{ 個/cm}^3$ ）

出典：「昭和 51 年度版 環境白書」（1977、沖縄県）、
「昭和 53～平成 16 年版 環境白書（昭和 52～平成 15 年度年次報告）」（1978～2005、沖縄県）、
「環境白書【平成 16～26 年度報告】」（2006～2016、沖縄県）を参照

